

第 2 9 回消防職員専科教育警防科実施要領（抜粋）

（青森県消防学校）

1 教育目的

部隊を効果的に指揮するため、防災関係法令に関する専門的知識を習得し、各種災害事象に対する基本的消防戦術を理解するとともに、その資質の向上を図ることを目的とする。

2 教育対象者

災害現場において、消防隊等の指揮業務を担当する者及びその予定者で、階級は消防士長以上とする。

3 教育期間及び場所

（1）期間

平成 1 9 年 1 1 月 1 5 日（木）から 1 1 月 2 9 日（木）までとする。

（2）場所

青森県消防学校

〒038-0042 青森市大字新城字天田内 1 8 3 番地 3

（電話 017-788-4221 F A X 017-788-4222）

4 教育内容

別紙 1 「教科目表」及び別紙 2 「日課表」のとおりとする。

5 入校学生数

1 9 名

教育科目及び内容

教科目	時間数	教育内容
講 話	1	職責とところ構え（１）
警防行政の現状と課題	3	災害の発生状況と傾向（２）
		警防行政と訴訟事例（１）
防 災	5	災害対策基本法の概要（２）
		国民保護法の概要（２）
		水防法の概要（１）
警防対策	14	放射能の基礎知識と原子力防災対策（３）
		生物・化学剤災害とテロ災害の活動要領（３）
		地震災害の概要と対策（２）
		緊急消防援助体制の概要（２）
		土砂災害の概要と対策（３）
		濃煙検索要領（１）
消防戦術と安全管理	14	消防通信と情報収集（２）
		建物火災の指揮活動要領（３）
		林野火災の指揮活動要領（３）
		指揮隊と現場活動要領（２）
		安全管理（２）
		航空消防体制の現況と活動（２）
図上訓練	8	図上訓練Ⅰ（４）
		図上訓練Ⅱ（４）
実技訓練	12	消防資機材取扱訓練（６）
		建物火災・指揮活動訓練（６）
事例研究	6	事例研究（発表・討議）（６）
健康管理	3	職場でのメンタルヘルス（２）
		惨事ストレス（１）
効果測定	1	効果測定（１）
その他	3	入校式・修了式・生活指導（各１）
計	70	

※ 教育内容欄の（ ）は、教育科目における時間数の内訳

指揮活動訓練要領

1 目的

木造・防火造・耐火造建築物の火災を想定した訓練で、刻一刻と変貌する現場における指揮隊の指揮活動及び消防本部等の基本的対応を習得する。

2 実施日時

平成19年11月28日（水） 9時20分～16時00分

3 訓練場所

屋外訓練場

4 想定

耐火造地下1階地上3階建ての飲食店の1階より出火し、要救助者が数名有り。その他の想定については、その都度付与する。

5 活動ポイント

- (1) 指揮隊を中心とした部隊行動
- (2) 指揮要領と進入要領及び検索救助
- (3) 情報収集要領
- (4) 報道対応要領

6 必要資機材

模擬ハウス、ダミー3体、トランシーバー5基、拡声器、スモークマシン、筒先・消防用ホース等消火及び救助活動資器材、その他活動に必要な資機材

7 実施内容

実火災を想定した訓練とし、訓練終了後意見交換を実施する。

《タイムスケジュール》

9:20～10:20	訓練準備等
10:20～11:00	1回目訓練
11:00～11:30	訓練準備等
11:30～12:10	2回目訓練
昼 食	
13:10～13:40	訓練準備等
13:40～14:20	3回目訓練
14:30～15:10	片付け等
15:20～16:00	検討会（普通教室）

8 使用車両

- (1) 指揮隊 . . . ジープ
- (2) タンク隊 . . . タンク車
- (4) ポンプ隊 . . . ポンプ車
- (3) 救助隊 . . . 救助工作車

9 部隊編成及び関係者等の役割分担等

役割分担については、各班を基準にし、別表により事前に決めること。

10 出場順位

指令から1分後に順次出動する。なお、タンク隊とポンプ隊は同時出動とし、出動順序についてはその都度指示する。

11 水利

本訓練塔横の防火水槽

12 増強要請

増強要請をしてもよいが、仮想として実際の活動はしない。

13 実施細目

- (1) ホースれき損防止のため、必要によりホースブリッジを使用すること
- (2) 破壊は行わないこと
- (3) 本部通信指令台との交信は通常どおり行うこと
- (4) 無線はトランシーバーで代用（ポンプ隊は、トランシーバーなし）
指揮隊⇔部隊 = 1 c h 指揮隊⇔本部通信指令台 = 2 c h
- (5) 出動時は、前照灯・赤色回転灯点灯させた状態で待機し、サイレンの鳴動は、出動時のみで3秒程度とすること
- (6) 校内の走行速度は、20 km/h以下とすること
- (7) 車両、資機材は事前に学生が時間までに準備すること
- (8) 無線局名
本部通信指令台 消防学校本部
指揮隊 指揮隊
タンク隊 タンク隊
ポンプ隊 ポンプ隊
救助隊 救助隊
- (9) 鎮火の合図及び付加想定は、拡声器で知らせる。

14 その他

- (1) 訓練に際しては、基本事項を遵守し、基本に忠実な訓練を実施してください。
- (2) 本訓練の目的であるこれからの消防活動に不可欠な指揮隊を中心とした組織活動、特に、部隊管理・情報管理・安全管理などを徹底することを念頭におき、あわてることなく確実な訓練を実施してください。
- (3) 訓練に際し「安全管理の基本は自己にある」ことを念頭におき、不安全な行動が認められた場合は、指揮者及び安全管理員は、躊躇することなく訓練を中止させる勇気をもって望んでください。
- (4) 各隊員は、失敗を恐れず士気旺盛な訓練を実施してください。

平成19年11月28日
第29回警防科

建物火災・指揮活動訓練

青森県消防学校

訓練想定指令書 (1回目)

【119通報による情報】

耐火造地下1階地上3階建て飲食店より出火
西の風4m/s 湿度60%

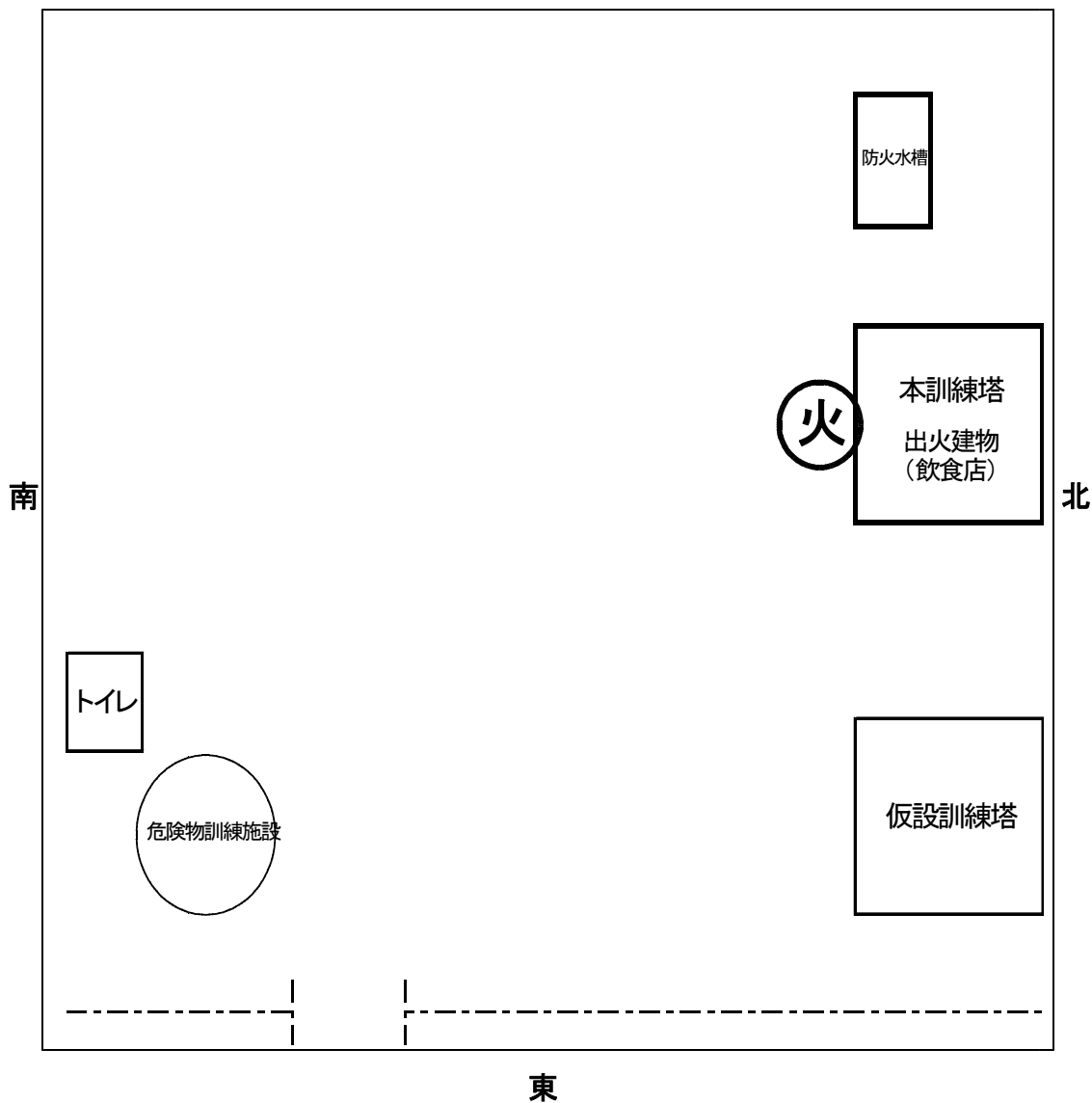
住所 青森市新城字天田内

名称 天田内食堂

通報内容

1階厨房より出火、延焼中、逃げ遅れ者あり、客は全員避難したもよう。

西



【消防学校本部】

○ 火災指令（トランシーバーにて）

「火災指令！火災指令！青森市大字新城字天田内 建物火災」

「只今の火災は、耐火造地下1階地上3階建ての天田内食堂、

1階厨房から出火した模様、通報によると逃げ遅れ者多数、

人数不明、人命救出を第1優先に活動せよ。以上 消防学校本部」

【通信指令課員】

10:20

（出動指令2ch）

火災指令 青森市新城字天田内 天田内食堂 要救助者あり

119通報覚知 10:17 通報者：天田内食堂所有者 杉澤貴幸
電話番号不明

※ 消防学校本部は、現場からの情報をまとめること。

【関係者（火元者）】所有者で発見者及び通報者

（消防隊がきたら、手を振り合図する）

1階厨房が燃えている。

お客は5人いたが全員逃げて無事です。

従業員は4人いるが、1人は、逃げる時、具合が悪くなって入口付近に倒れています。早く助けて！他の従業員もまだ中にいる思います。

（各隊の指示が終わり、各隊が屋内進入した頃）

3階にいる娘が見あたらない。娘は足が少し不自由なんです。早く助けて！死んでしまう～！

（聞かれたら）

住所：青森市新城天田内183-3 天田内食堂

耐火地下1階・地上3階建て 建築面積10㎡、延べ面積40㎡

1・2階が店で、3階は住宅で使っています。地下は倉庫です。住宅は妻と娘1人の3人で住んでいる。

※ あとはアドリブで！

（付加想定者と模擬ハウスへの点火時期等を打ち合わせすること。）

【従業員】建物玄関内で倒れている（中等症：避難の際、足首を捻挫）

足が痛い。逃げるとき転んで足を挫いたみたいだ。
まだ中に従業員が3人います。

（聞かれたら）

従業員は全員で4人です。

※ あとはアドリブで！

【付加想定者】

（関係者が3階に要救助者がいる旨を話した頃）
2階延焼中、階段及び3階ベランダ進入可能

（模擬ハウスに点火し、3階の要救助者を地上に救助した頃）
付近の小屋に類焼

※ 関係者が小屋の模擬ハウスに点火

【報道】～消防学校新聞

- 内容
- ① 消防学校新聞ですが、逃げ遅れた人がいるのですか！
 - ② 何が燃えていますか！
 - ③ 怪我人はいますか！
 - ④ 火事は、住宅ですか！
 - ⑤ 火事の原因は、何ですか！
 - ⑥ 逃げ遅れ者がいるという情報があるのですが！
など

救助隊が到着し、活動しだしてから何度となく情報提供を迫る。

※ あとはアドリブで！

部隊編成及び関係者等の役割分担

【1回目】

役割分担	実施任務				備考
指揮隊 4人	中隊長	指揮担当	情報・伝令担当	通信担当	各隊ごとに必要資機材を準備 安全管理は、教官及び指揮隊担当が行う
タンク隊 3人	小隊長	機関員	隊員		
ポンプ隊 3人	小隊長	機関員	隊員		
救助隊 4人	小隊長	機関員	隊員	隊員	
関係者等 3人	関係者	従業員	報道		
その他 2人	通信指令課員	進行・付加想定者			
					開始前に想定の打ち合わせを行う 通信指令課員は、屋内訓練場を消防本部とし情報収集を行う

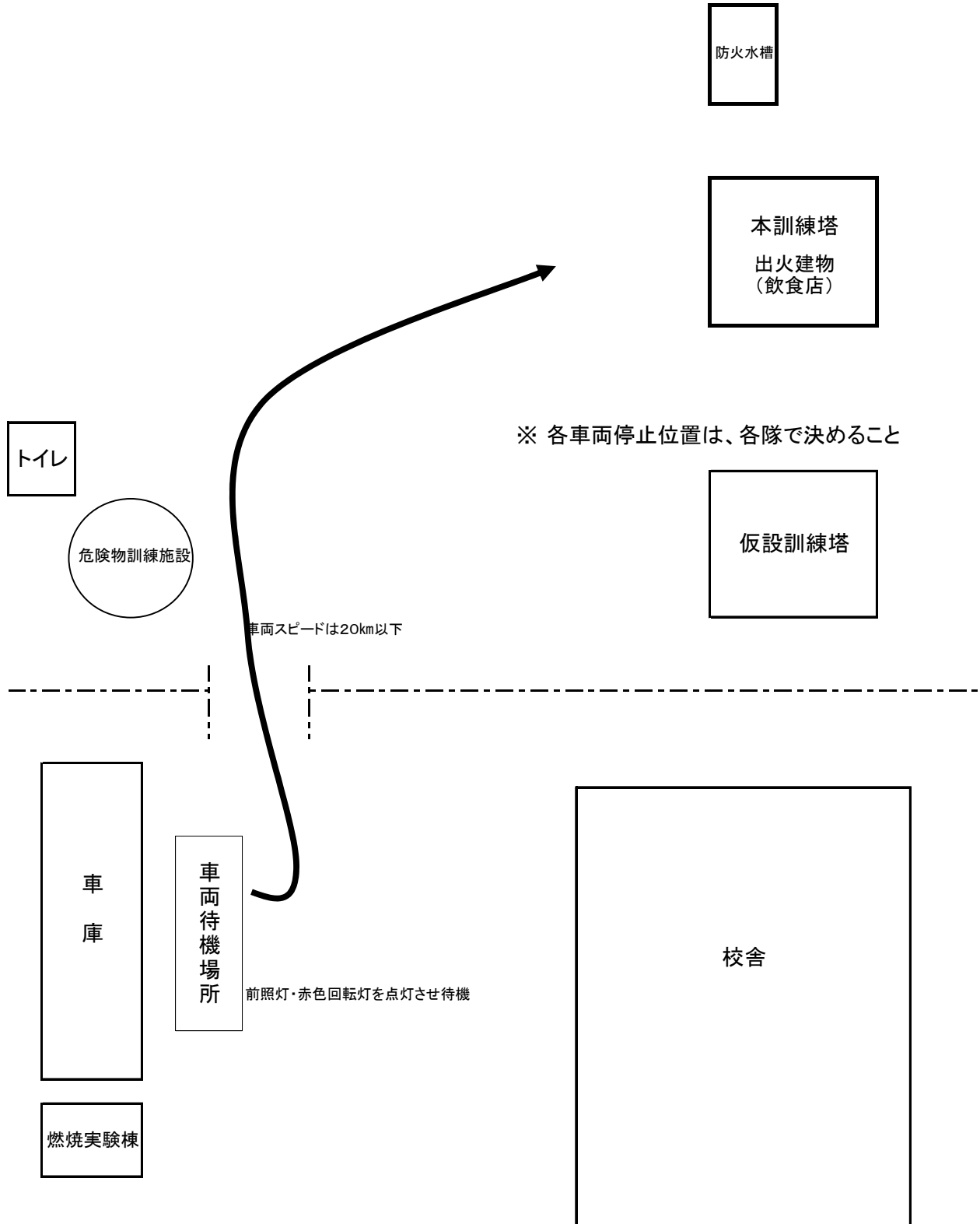
【2回目】

役割分担	実施任務				備考
指揮隊 3人	中隊長	指揮・情報担当	通信・伝令担当		各隊ごとに必要資機材を準備 安全管理は、教官及び指揮隊担当が行う
タンク隊 4人	小隊長	機関員	隊員	隊員	
ポンプ隊 3人	小隊長	機関員	隊員		
救助隊 4人	小隊長	機関員	隊員	隊員	
関係者等 3人	関係者	従業員	報道		
その他 2人	通信指令課員	進行・付加想定者			
					開始前に想定の打ち合わせを行う 通信指令課員は、屋内訓練場を消防本部とし情報収集を行う

【3回目】

役割分担	実施任務				備考
指揮隊 4人	中隊長	指揮担当	情報・伝令担当	通信担当	各隊ごとに必要資機材を準備 安全管理は、教官及び指揮隊担当が行う
タンク隊 4人	小隊長	機関員	隊員	隊員	
ポンプ隊 3人	小隊長	機関員	隊員		
救助隊 4人	小隊長	機関員	隊員	隊員	
関係者等 2人	関係者	従業員			
その他 2人	通信指令課員	進行・付加想定者			
					開始前に想定の打ち合わせを行う 通信指令課員は、屋内訓練場を消防本部とし情報収集を行う

訓練配置図



指揮活動訓練意見交換表

【指揮隊】

【タンク隊】

【救助隊】

【その他】